

海外大学とのオンライン交流

➤ 実施目的

- ・アフターコロナを見据えた若者による未来志向の消費者政策における国際連携を構築するため、県内大学とASEAN諸国の大学との間でオンラインを活用した交流会を実施（R3年度～）
- ・本県大学と海外大学との交流を通じて、本県の取組を海外に発信するとともに、若者の感性・知恵を徳島に持ち寄り、徳島県における消費者政策の「国際拠点化」を推進

➤ R4年度の実施概要

※参加大学：鳴門教育大学、四国大学、徳島文理大学
マラヤ大学（マレーシア）、フィリピン大学ディリマン校（フィリピン共和国）、メーファールアン大学（タイ王国）

（第1回）R4.6.9

- ・参加校の教員が集まり、実施する消費者教育や、SDGsに関する取組を紹介
- ・各校毎に「エシカル消費」「未来につなげる消費」の実践に向けたハンドブックを作成することとし、イメージを共有



第1回交流の様子

（第2回）R4.10.3

- ・学生主体で、交流事業参加各大学からの取組発表の後、意見交換を実施
- ・「一人のできること」「学校のできること」「地域のできること」など、参加学校の現状を踏まえたハンドブック案を紹介



第2回交流の様子

（とくしま国際消費者フォーラム2022）R4.10.25

- ・セッション2：
ASEAN諸国と徳島県の若者による「未来セッション」
- ・「持続可能な社会の実現に向け、私たちができること」をテーマ、県内高校生も参加し、未来志向での議論



セッションの様子

（第3回）R5.2.1

- ・「第2回交流会」「未来セッション」での議論を踏まえ、最終のハンドブック案を報告
- ・作成されたハンドブックは、各大学及び県HPにおいて紹介！



参加者記念撮影

➤ アドバイザー（西村 隆男 横浜国立大学名誉教授）のコメント

- ・いずれのハンドブックも各大学ならではの特色を盛り込んだ素晴らしいものとなっている。ハンドブックに盛り込んだ項目について、日常生活で実践できているか、一人ひとりの振り返りが重要。
- ・翌年度は、消費者行動に対する提案や提言など、さらに若者の自由な視点をより取り入れた会議になることを期待したい。

→ 令和5年度は、デジタル社会における消費者行動の在り方など、新たな視点を盛り込みより活発な交流を実施